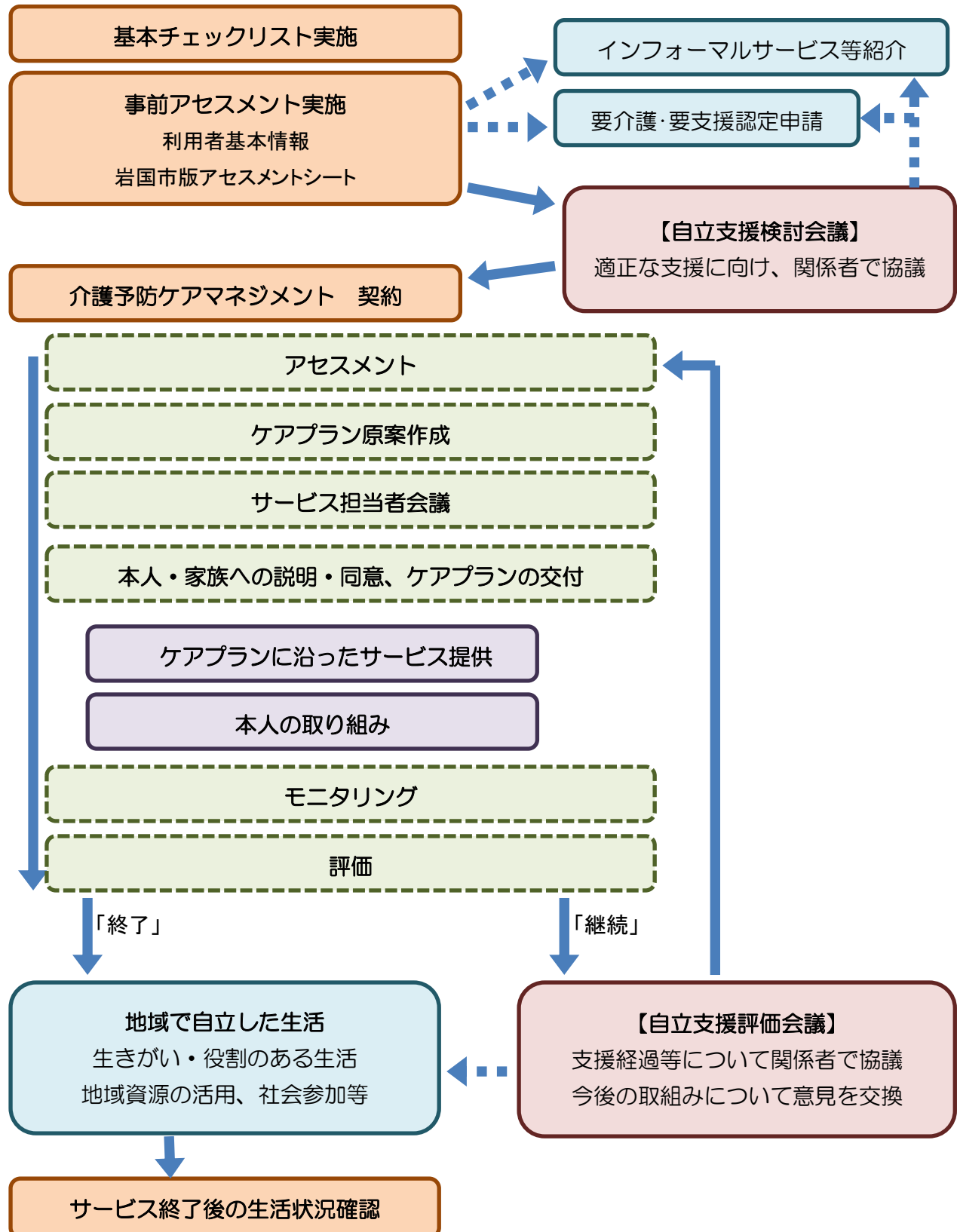


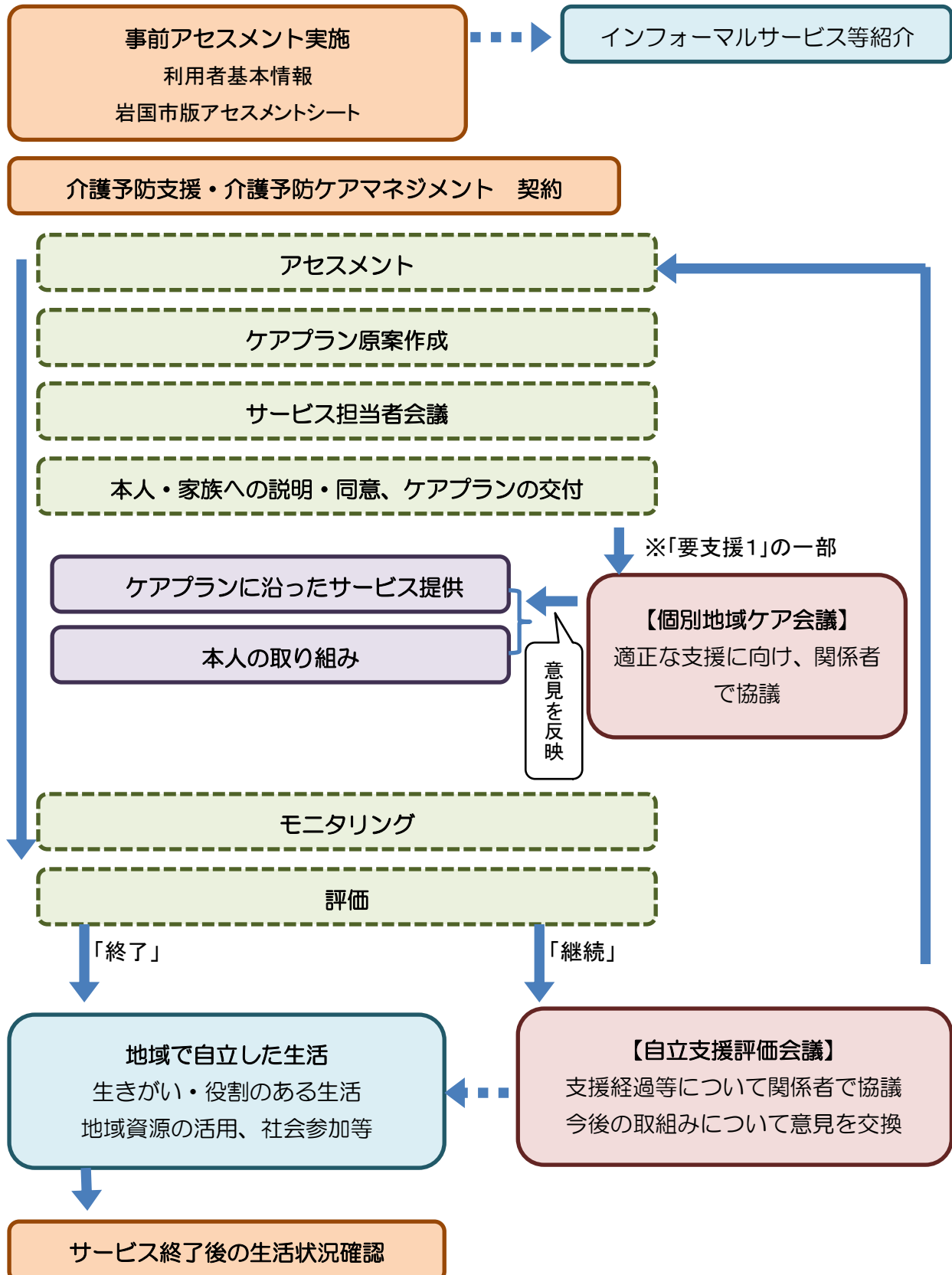
地域包括支援センターの業務の流れ（事業対象者）

訪問・面接



地域包括支援センターの業務の流れ（要支援 1）

訪問・面接

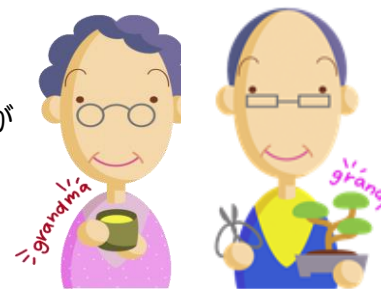


介護予防・日常生活支援総合事業

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、**ご自身でできることを活かしながら生活することが重要です。**

介護予防・日常生活支援総合事業では、これまでのサービスの他、様々な資源等を活用し、**みなさんの介護予防の取り組みや日常生活の自立を支援していきます。**

- ☞ ケアプランは、本人の能力を活かし、自立した日常生活を支援する観点で作成します。
- ☞ ケアプランに基づいて、必要な保健・医療・福祉サービスが提供されます。
- ☞ できるだけ自分でできることはしていただき、自立支援に資するサービスをご利用いただくことが原則となります。



介護保険法

第 1 条(介護保険の目的)

この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらのものが尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。

第 4 条(国民の努力義務)

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

※介護保険は、介護を必要とする高齢者や家族の負担を社会全体で支え、介護が必要になっても、住み慣れた地域で、できるだけ自立した生活を送っていただくための制度です。

介護予防の推進 …… 自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント（例）

1、足腰が弱り日常生活の活動低下や外出機会が減少している

⇒機能回復訓練などだけでなく、生活環境の調整や、地域の中に生きがい・役割を持って生活できるようにアプローチする。

○入院前に行っていたボランティア活動を再び行なうために、体力の回復や筋力が向上するよう、デイサービスや自宅で運動や体操等を行なう。

○趣味の会にバスに乗って参加するために、最寄りのバス停までの歩行や段差の移動が安全に行えるよう、デイサービスでの運動や自宅での移動の機会を増やす。

2、身の回りの動作は自立しているが、家事動作の一部が行いにくくなっている

⇒生活の仕方や道具の工夫等で、自分で行なえるようにする。

○掃除機を引っ張って掃除ができないため、ハンディタイプの掃除機やほうき・モップなどで掃除をする。

○買物で買った商品を持ち帰ることができないため、配達を利用したり、リュックや押し車を使用する。



高齢者自身やその家族による**自助**、地域の支えあい(互助)、介護保険制度などの**公助**等、
それぞれが責任を果たしていく必要があります。